



※以下の基本情報をご記入のうえ、該当する番号に○をつけてください。

フリガナ	トクテイヒエイリカツドウホウジン フードラボ			
氏名 または 団体名	法人格の種類 <input checked="" type="checkbox"/> ①特定非営利活動法人 <input type="checkbox"/> ②一般社団法人 <input type="checkbox"/> ③任意団体 <input type="checkbox"/> ④個人 <input type="checkbox"/> ⑤その他()	特定非営利活動法人 フードラボ		
フリガナ	スナノ	マコト	性別	年齢
代表者氏名	姓 砂野	名 信	<input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	56 歳
住 所	(〒530 - 0016)			
	大阪	都 道 府 県	オオサカシキタクナカザキ 2-4-1 0	
			大阪市北区中崎 2-4-1 0 カプリース茶屋町東 7 0 1	
電話番号	06-4802-4664	携帯電話番号	090-7760-6610	
メールアドレス	sunano @ npo-foodlab.org			
活動内容 (簡単に)	子ども達が、親子で、または世代の離れた大人と共にそば打ちをし、その行程から、”日本の食文化”を学び、未来へと継承してゆく、都会での人と人の心を繋ぐコミュニケーション食育「そば育」で、未来を笑顔で埋め尽くしたい！			
この募集を知ったきっかけは何ですか？ ① 新聞 ② 雑誌 ③ プロジェクト HP <input checked="" type="checkbox"/> ④ 行政・NPO 支援団体からの紹介 ⑤ NPO や支援団体などの Web サイト ⑥ 知人の紹介 ⑦ スミセイライフデザイナーからの紹介 ⑧ 以前から知っていた ⑨ ダイレクトメール ⑩ その他 具体的な新聞・雑誌名、サイト名などをご記入ください。(奈良 NPO センターさんからのメールで知りました)				

<個人情報の取扱いについて>

応募者の個人情報は、審査および運営に必要な範囲内で利用し、第三者へ提供することは一切ありません。
応募者の同意なく、利用目的の範囲を越えて利用することはありません。



【webダウンロード用】

必要資料: 応募活動について

活動を始めた経緯 (200字程度)

”そば”で繋がる笑顔の輪！子供達の笑顔が、町を、社会を、国を創る！

「そば打ちには人が出る」「打ち手の人生が見える」とよく聞きます。つまり、そばを打つという行為の中には、単に食材を調理する以外に「人生にとっての大切な事柄」が沢山含まれているというのです。子ども達と、ソバという植物を育て、粉を挽き、麺にして、食す。これらの行程を通して「日本の食文化を守る食育」を目指した事がキッカケです。親子で一緒にモノ創りをし、世代の離れたご老人や障がいをお持ちの方と、共に学び合い教え合う…、その活動から明るい未来がみえてくると思うのです。

②活動を始めた時期

西暦 2013年 8月 (法人格取得年月などではなく、実際に活動を始めた時期をご記入ください。)

活動期間

2年 1ヶ月間

③スタッフ数	全体数	常勤有給・常勤無給・非常勤有給・非常勤無給の内訳をご記入ください。				
	12人	全員、非常勤無給				
④会員数	登録会員数			月平均の利用者・参加者		
	35人			52人		
⑤年間事業費 収入の内訳 (金額と全体に占める割合をご記入ください。)	総額	100,000円		委託費など会費・寄付金等以外に収入がある場合は以下に費目と金額をご記入ください。		
	会費	420,000円	42%	イベント謝礼	25,000円	2.5%
	寄付金	636,800円	63.68%	参加費	180,000円	18%
	助成・補助金※	21,800円	2.18%	協賛金	10,000円	1%

※) 助成・補助金がある場合は、その名称と金額をご記入ください。

一般社団法人 全麺協 子供そば打ち体験事業補助金	21,800円
	円
	円
	円



⑥活動の特徴（200字程度）

親子で一緒にそばを打つ！

そこから”日本の食文化”を学び、守り、継承してゆく。

人と人との心を繋ぐ食育「そば育」を目指しています。

ソバ栽培やそば打ちを通して、子供たちに、生命の強さ・生きるための工夫・先人から伝わる所作や心遣いといった「日本人ならではの繊細な感性」を身につけて欲しい。また、お年寄りから教わったり、また子供達が学んだことを大人に教えたりする、そんな相互的な「共育」も、「そば育」の特徴です。

⑦活動地域における子育て環境の課題（200字程度）

よく地方の過疎化問題が叫ばれていますが、都会にも、人と人との繋がりや世代間交流に関する「文化的・精神的な過疎」が存在します。

我々は、大阪のど真ん中で活動していますが、仕事におわれる親御さんが多く、親子で一緒に何かを体験する時間も限られており、子ども達のご老人と接する機会も少ないのが現状です。「気軽に親子で体験できるものがあれば」「もう少し子供に、お年寄りから日本文化を吸収させてあげたい」という声をよく耳にします。我々の活動が、そういった問題を解消する一端になればと思います。

⑧具体的な活動内容（200字程度）

現在は、地元の事も達や、子育て世代、ご老人と一緒に、月一回「そば打ち体験教室」を行っております。さらに、年一回の「ふれあい振る舞い蕎麦と親子そば打ち体験」を300人の規模で開催しております。また、活動は「子連れのママ・パパも一緒に愉しめる環境を！」ということをテーマにしています。ママ・パパ達が子供と共に楽しくそば打ちを学び、さらには、出来上がったものが晩ご飯になってしまうという、“一石二鳥”の活動です。

⑨現在の成果（200字程度）

地域の中に、少しずつ「そば育」に対する興味と関心の輪が広まりつつあります。例えば、ご近所の子育てママさんチームからは、「単に子供を遊ばせるのではなく、自分も楽しめて、そのうえオイシイ！」「子供が明るくなった」という声や、「私達も一緒に敬老センターや身体の不自由な方の施設にも行ってみたい」「これからもっと定期的に習って、そば打ちの段位に挑戦したい！」との声も上がっており、「そば育」の浸透を実感します。

⑩副賞で実現したいこと(200字程度)

現段階では、そば打ちの道具や設備は、会員有志のものを借りて、活動しています。そば打ちには、かなり沢山の様々な道具が必要であり、教室のたびにレンタカーを借りて、それらの道具などを搬入・搬出しています。このプロジェクト専用の道具を揃えたり、場所を確保したり、また中古ワゴン車の購入資金の一部に活用させていただければ、と考えております。

副賞を、より多くの「子供の笑顔創り」に結びつけたく思っております。

⑪過去の受賞歴（過去に行政・民間団体等から表彰を受けたことがある場合はご記入ください。）

年	ありません	年	
年		年	
年		年	



必要資料:推薦書

フリガナ ⑫応募者名・団体名	トクテイヒエイリカツドウハウジン フードラボ 特定非営利活動法人 フードラボ
フリガナ ⑬推薦者氏名	キタクコドモコソダテプラザ ヤジユウロウ カズヒロ 北区子ども・子育てプラザ 弥十郎 和博
⑭推薦者職業	会社員 (社会福祉事業・マネージャー)
⑮推薦者住所	〒531-0074 大阪市北区本庄東1-24-11
⑯推薦者連絡先	TEL:06-6374-0870 FAX:06-6374-0870 E-mail:kitaku-plaza@osaka-kosodate.net
⑰推薦理由 (活動を体験しての感想 などでも構いません。 (400字程度)	私は地域の子育て支援施設に勤める職員です。フードラボさんとお知り合いになったのは、平成26年5月、「親子でそばを打って振舞える」そんな活動がボランティアに活かさないか…というお話の機会をフードラボの代表者砂野さんから頂いたのがきっかけでした。子育て支援施設としてイベントに活かそうと、お互いに企画内容を検討、調整がはじまりました。 こうして開催した「Enjoy そば! ふるまいそばと親子そば打ち体験」は、26年には230名、そして27年には250名を超える来場者数がありました。日本の食文化の一つとも言える「そば」を通じて子ども達は学び、体験し、食すという笑顔いっぱいの素敵なイベントになり、参加頂いた方々からも「美味しかった」「楽しかった」「こんな体験なかなか出来ない」と大好評でした。フードラボさんには、これからも子どもたちが楽しみながら日本の食文化に携われる機会を継続的に提供していただけることを願い、期待しております。

※推薦者は団体役員やスタッフではなく他薦でお願いいたします

<個人情報の取扱いについて>

推薦者の個人情報は、審査および運営に必要な範囲内で利用し、第三者へ提供することは一切ありません。
推薦者の同意なく、利用目的の範囲を越えて利用することはありません。



■事業名「都会のど真ん中でソバを育てて、そば打ちを学ぼう！」

■[課題・背景]

現在、都会に暮らすお子さんやご老人達は、緑に触れる機会が少なく、ましてや農作物を自分の手で育て食す機会を持つ事が、困難な状況である。一方、昨今のシニア世代による「そば打ちブーム」後、沢山のそば打ち有段者が生まれたが、彼らのソバに関する知識や、そば打ちから学んだ社会貢献への想いは、実際その気持ちが在っても、なかなか発揮出来ていないのが現状である。

■[うめきた開発地を共学の場に？]

現在、JR大阪駅北側空き地の二次開発が行われており、その暫定利用を活用して、ソバ栽培を行えないかと企画している。都会のお子さん・ご老人が世代を超えて、そば打ちやソバ栽培を教え、教えられ、成長してゆく過程を、行政や各団体と連携を取り支援して行きたい。